

◎「ウクライナ支援」News Letter (52) 32026年6月5日

ミッション・宣教の声

主にある皆様へ

いつも、祈り覚えてくださり、お礼を申し上げます。

船越宣教師から緊急の「祈りの課題」が入りましたので、送ります。
厳しい現実の中にある、ウクライナの兄弟とその家族を覚えて、お祈りを願
いします。

黒田 禎一郎

愛する

愛する皆様へ

いつも、お祈りくださりお礼を申し上げます。

月曜日から、ハリコフ地方のバラクレアという町に、知り合いの部隊に発電機
などを届けに行っていました。（水曜日にオデッサに戻りました。）バラクレ
アでは、現地にある一つの教会（バプテスト教会）を訪問しました。この教会
は、5月23日にロシアの無人爆撃機による攻撃を受け、ひどい損傷を受けま
した。着弾時（土曜日の午後）に牧師をはじめ、数名の教会員が教会にいまし
た。幸い、怪我人はいませんでしたが、凄まじい爆発と衝撃だったそうです。

すぐに火災が発生しましたが、消防活動が行われ、鎮火しました。翌日の日曜
日に、集まった人々は、深い悲しみと同時に、怪我人が出ず、建物が破壊され
なかったことを主に感謝し、礼拝の後で片付けと掃除をしました。今回はその
教会に支援を届け、その教会の牧師（アレクサンドル牧師）からいろいろな話
を聞かせていただきました。バラクレアは2022年に、数ヶ月間ロシア軍の
占領下に置かれ、その間、牧師自身も2週間にわたってFSBに拘束され、かな
り苦しい目にあわれました。

占領中は閉鎖を余儀なくされていた教会はバラクレアがウクライナ軍によって
奪還されてからは活動を再開し、活発な活動を続けていましたが、今回の攻撃

を受け、牧師も教会の人々も非常に心を痛めつつ、その中で神様の計画を信頼するその思いを聞き、私自身、強く励まされました。ロシアはいつ再びこの教会に無人爆撃機を撃ってくるか分かりません。

どうか、この教会が守られるようにお祈りください。

船越真人・美貴



* 「祈禱課題」は前号に続きます。

※ 「ミッション・宣教の声」の オンライン献金先は次です。

<https://vomj.jp/free-donation/>